

クリニカルパス通信



パスミニ用語集

このコーナーではパス用語解説集より基本的用語について抜き出して簡単に解説します

BOMとは？

標準アウトカムマスター (Basic Outcome Master) は日本クリニカルパス学会が監修した、アウトカム(達成目標)と観察項目を整理しまとめたもの。2011年4月に Ver1.0 がリリース、現在は Ver3.0 が最新となっている。各項目には管理用のコードが設定されており、アウトカム、観察項目に BOM を利用することによって SDCA サイクルに必要なバリエーション(逸脱・変動)データを収集しやすくなる。

日本クリニカルパス学会で標準化されたマスターを使用することにより、自施設だけでなく、他の多くの施設のデータを収集してより大規模での分析も可能となる。

なぜパスの適用率を上げる必要があるのか？

北九州市立八幡病院はクリニカルパス適用率 50% を目標に活動をしています。

クリニカルパスを使用するメリット

- ・ 医療の質の向上
パスは病院機能評価でも導入・見直しが求められているように、医療の質の向上に必要なものと言える。標準的な目標、医療行為を設定することで、普段と違うもの(バリエーション)が目立ち、異常の早期発見ができる。
- ・ コスト削減
パスを定期的に見直しすることで、不要な検査や処置を発見し、減らすことができる。
- ・ 患者への診療情報の共有
患者用パスに沿って説明することにより、患者に診療内容、目標を明確に伝えられ、患者が安心できる。

パスの適用率向上のための取り組み

- ・ 新規パスの作成
パスを適用できる治療や検査を増やす。
- ・ パスの見直し
パスの内容を定期的を確認、改善し、パスを利用しやすくする。



「目指せ 400 件！」



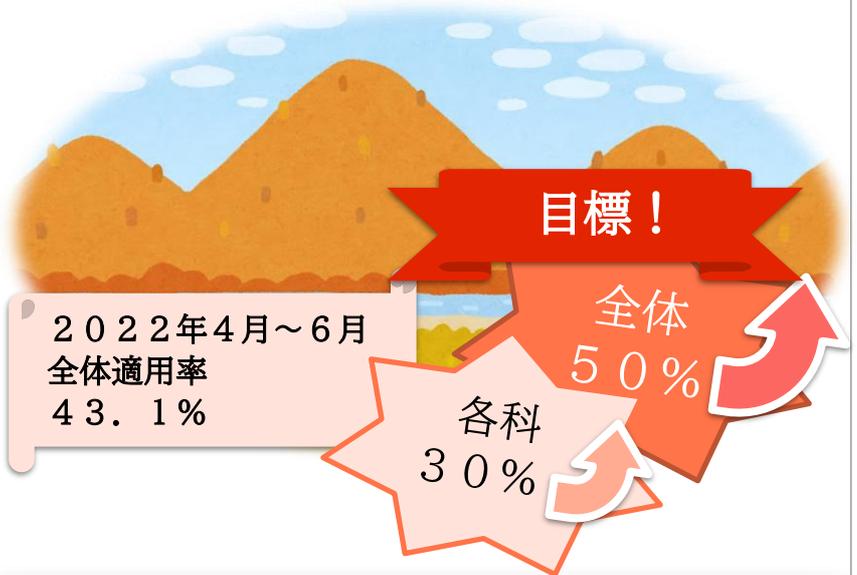
現在運用中のパスは 319 個
(9月30日時点・多い順)

外科・呼吸器外科	156
整形外科	83
小児科	20
形成外科	15
手術室	12
眼科	11
婦人科	6
看護部	5
泌尿器科	4
脳神経外科	3
内科	2
循環器内科	2

新パス紹介 (4~6月承認分)

外科

- ★痔核硬化療法 (前日入院)
- ★超音波内視鏡EUS (前日入院)
- ★胸水腹水濾過濃縮再静注法 (CART) 前日入院
- ★胸水腹水濾過濃縮再静注法 (CART) 当日入院
- ★EUS-FNA (前日入院)
- ★EUS-FNA (当日入院)
- ★肛門ポリープ



【2022年4~6月パス適用率】

